

課外ゼミ活動報告

現代小説研究会

顧問・指導者 倉田容子
 人員十一名 報告者 野平葵

〔活動内容〕

本年度は前年度に引き続きオンラインミーティング機能を使った活動を行った。井上靖「雷雨」、水上瀧太郎「遺産」、安部公房「魔法のチョーク」、江戸川乱歩「押絵と旅する男」、太宰治「さりざりす」、ケン・リュウ「紙の動物園」といった時代・文化・国籍を問わず様々な作家の作品を扱うことができた。

又、今年度も小規模ながら会誌『stry:scd』をオータムフェスティバルの資料掲載枠で発表することができた。読む立場だけでなく、創ることも経験することでより深く作品を理解し味わうことができる良い機会であるため、今後も参加し創作活動の発表の場にした。

月に一回の読書会を活動の中心とする本課外ゼミにおいてオンラインミーティングは、日程の調整や時間の調整など多くの点で都合が良く運営において活用することができた。今後の努

力目標として、この二年間で培ったノウハウを活かして快適に活動・運営を行いつつ、学生の交流の場としてオンラインと実際に会う活動とのバランスをとっていく必要がある。

文学散歩サークルかちかち山

顧問・指導者 近衛典子
 人員十二名 報告者 小柳優梨

〔活動内容〕

文学散歩サークルかちかち山では、文学ゆかりの地や寺社、史跡、博物館などへ赴き、文学や歴史への理解を深めるべく活動を行っている。本年度も新型コロナウイルスの影響は大きかったが、十月末のオータムフェスティバルに参加し、本サークルの紹介を行うことができた。また十一月には新二年生を迎え、少人数ながら等々力溪谷・三軒茶屋の目青不動・松陰神社・世田谷城址・豪徳寺・世田谷代官屋敷と、大学周辺を巡る散歩を実施した。今回は豪徳寺のすぐ隣にある旧尾崎幸雄邸も、外観だけではあるが、特別に拝観することができた。天候に恵まれ、心地よい小旅行となった。

来年度は、少人数のグループに分かれるなどの対策を行った上で、より多くの散歩を実施したい。

日本語史研究会 活動報告

顧問・指導者 土井光祐

人員十名 報告者 高瀬清太郎

〔活動内容〕

本年度も、活動の場をオンラインに移し、会員相互の日本語史の知見を深めた。

主要な行事としては、卒業論文・就職活動・大学生活などについての情報交換会を開催した。

教場に集まって日本語史資料を輪読する活動はできなかったが、引き続きオンラインで行ったため大学に出向く必要がなくなり、時間的制約も大幅に軽減されることになった。そのため、在学生も参加しやすくなり、遠方在住のOB・OGの方々の参加も可能となった。在学生にとっては今後の見通しを立てるための情報が得にくい中で非常に有意義な時間となったのではないかと思う。

来年度はオンラインでの活動を引き続き行うとともに、可能であれば教場に集まり、対面で行う活動を再開することを目指したい。

中世文学研究会

顧問・指導者 櫻井陽子（今年度は田中徳定）

人員五名 報告者 村越すみれ

〔活動内容〕

中世文学研究会では、『平家物語』を中心として、中世の軍記物語への理解を深めることを目標に活動を行っている。過去の活動では、『平家物語』から興味のある章段について発表し、複数のテキストの比較や、同時代の史料との関係などについて参加者全員で討論を行った。

本年度の前期は、新型コロナウイルスの影響で実際に活動を行うことができなかった。来年度に向けて、十分な感染症対策をとりながら、対面での活動ができるよう検討したい。また、研究会の活動を広く紹介し、本研究会が学部・学科に関係なく中世文学に触れられる場となるよう工夫していきたい。